



謹んで新春の

お慶びを申し上げます

特定非営利活動法人

通院介護センター「さわやか」

理事長 山田 浩美

皆様におかれましては、穏やかなお正月をお迎えのことと存じます。また、旧年中は大変お世話になりました。今年の七月には北部九州豪雨が発生し、福岡県内でも多くの被災者が出ました。

ところによっては、未だに復旧できていないところもあります。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興を願っております。

また、昨年末には、衆議院選挙が行われ、三年にわたる民主党政権が終わり、自民党が政権を勝ち取るという大きな政治の動きがありました。

第二次安倍内閣には景気の回復や、東日本大震災による被災地の日も早い復興など多くの課題を解決に導いてもらうよう国民が期待しています。

福祉の問題もその一つです。

「国」が動かなければ、市町村は動きがとれません。

福祉に対する風当たりはいちだんと厳しくなっておりますが、新しい政権が私たちの期待に添えていただけるように、声を上げていかなければならないと思っております。

今年の夏に「さわやか」では、三県合同研修会を主催し執行を行うことになっており、着々と準備を進めております。

また、年頭の事務局会議では、事務局員それぞれが、新しい事にチャレンジし、スキルアップを踏むように取り組んで行くことを目標に掲げました。

今年も事務局一同精一杯頑張りますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

皆様方にとりまして、穏やかな良き年でありますように、心からお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

常務理事 梶原 待子

新しい年を迎え皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか、私はいつもと変わらぬ新年を迎えられた事に感謝しつつ、これから始まる一年の計を立てています。

毎年公私にわたり、趣味や特技を増やし充実した日々を過ごしたいと思いつつ、時の経つのがあまりにも早く毎年繰越となっております。

「さわやか」に携わって十七年になります。今までにいろいろな勉強をさせてもらいました。機会あるごとにお会いした方々に助言や勇気をいただき、いつも自分に、はっぱをかけている次第です。

透析に入り今年で透析歴十九年目です。「さわやか」の一員でもありますが、透析患者でもあります。

ある時、自分の体調管理ができない人は会社の経営管理もできないと聞いた事があります。

透析患者にとって自己管理をきちんとするという事は長生きのための第一条件だと思えます。わたしには少々耳が痛いのですが・・・。

そこで今年には体調管理と

経営管理のどちらもきちんとして出来る人間を目指して「さわやか」の継続と自分の体調を万全にするようにがんばりたいと思います。

今年には私にとって節目の年です。人生最後に後悔しないように身体がまだ動くうちに何にでも挑戦してみたいと思っております。

「さわやか」の中では最長老です。なかなか引退させてもらえないようですから老体にムチを打って皆に迷惑をかけないようにして行きたいと思っております。

今年の目標としてボランティアさんの確保と「福祉有償運送」という移送団体があることを市民の方にもっと知ってほしいので啓発運動に力を入れて行きたいと思っております。

また、昨年より今年と、躍動感に溢れるような「さわやか」になるように微力ではあります理事長を支え、協力して行きたいと思っております。今後皆様のご理解ならびにご支援とご協力を宜しくお願い致します。

「さわやか」レディースは一丸となってがんばります。今年も宜しく願いたします。